

指導・支援事例集の使い方

本事例集は、「特別な支援を必要とする児童・生徒への指導・支援事例集」です。

それぞれの特性に応じた指導・支援の内容や方法、あるいは教材など事例を通して紹介しています。

第1集「学習につまずいている子どもたち」

第2集「不注意や多動傾向、衝動性のある子どもたち」

第3集「こだわりや人とのかかわりの中でつまずいている子どもたち」

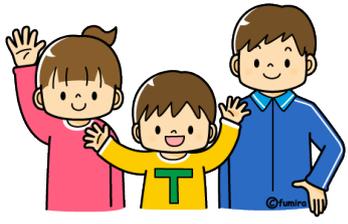
○この事例集の特長

- ・目次に事例のキーワードを示しており、キーワードから参考にしたい事例を探すことができる。
- ・学校規模を示しており、学校の規模にあわせた事例を参照できる。
- ・それぞれの巻末に、「事例から読み取れること」を記載しており、参考としたい事例が探しやすい。
- ・とじこみ式になっており、必要なところを抜き出して印刷・配付することができる。

○こんな場面で

- ・特別支援教育コーディネーターの先生が中心となって

| 場面 | 使い方 |
|---|---|
|  <ul style="list-style-type: none">・校内事例検討会に・校内研修に・校内支援体制づくりの参考に | <ul style="list-style-type: none">・児童生徒の事例検討会の時に、対象となる児童生徒とよく似た事例を参考にすることで、指導や支援についての見通しがもちやすくなり、具体的な支援について考えやすい。・ある事例を取り上げて、校内研修ができる。例えば「特性に応じた指導・支援をおこなうための個別の指導（教育支援）計画を考える」というテーマで、模擬チーム会議を行ったり、指導計画を作成したりなど、演習を行うことができる。・初めてコーディネーターになった先生方には、校内のコーディネート役としてどのような手順で支援体制づくりをするとよいのか、誰とあるいはどんな機関とどのように連携するとよいか分かる。・保護者に、子どもの実態を理解してもらったり、支援の必要性を理解してもらったりするときの参考になる。保護者と連携する際の具体的な役割分担や保護者への働きかけ方がわかる。 |

| 場面 | 使い方 |
|--|--|
|  <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒理解に ・実態把握やアセスメントの参考に | <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる児童生徒の行動観察を通して得られた情報から、その児童生徒の背景にあることや思いを、事例を参考にすることで理解できる。 ・学習面や行動面のつまずきの様子と、事例のつまずきの様子を比較することで、いろいろな視点から対象の児童生徒の実態について考えることができる。 ・外部機関等を活用し、行動観察や発達検査等から、どのように子どもをとらえるとよいのかかわかる。 ・数年にわたる事例が多く、発達段階による行動や心の変化などが今後の見通しをもつ上で参考になる。 ・子どもの状態が変化するかかわり方がわかる。 |

・学級担任や、支援にかかわる先生方に

| 場面 | 使い方 |
|--|---|
|  <ul style="list-style-type: none"> ・指導・支援の参考に ・教材づくりの参考に | <ul style="list-style-type: none"> ・特性やつまずきがよく似た事例を参考にすることで、指導・支援のポイントをつかむことができる。 ・学習面や行動面のつまずきの様子と事例のつまずきの様子を比較することで、その子の特性に応じた教材についての情報が収集でき、その情報をもとに適切な教材の準備ができる。 ・それぞれの事例の取り組みのよいところ、できそうなところを選び、実践できる。 ・個別の場面での指導、集団の場面での指導について、それぞれの場面に応じた指導・支援の内容や方法が参考にできる。 ・教室の環境整備や、学級のルールづくりなど、どのような手順で行うとよいのかを事例を通して検討することができる。 ・周りの子どもたちへの理解の求め方や、かわり方について検討できる。 |

事例集の使い方について、いくつか例を挙げました。ここに挙げた以外にも有効な使い方があると思います。特別支援教育コーディネーターの先生方を中心に事例検討会や校内研修などのときに、参考にしたい事例のページを印刷し、回覧したり、配付して読み合ったりし、児童生徒の実態把握や指導・支援の内容、方法、あり方の参考にしてください。

その他、各学校の実態に応じて先生方の参考書としてお使いください。